

## 初めての文も怖くない！

外国語 英語Ⅱ 普通科第2学年  
石川県立金沢伏見高等学校・教諭

### 1 事例の概要

英語を習得するのに必要な技能はいくつかあるが、単語が分からなければ英語を読み、聞き、書き、話すことは難しく、意欲がわかないことになる。本校では一年次から週1回単語テストを実施し、自主的な学習を促してきた。しかし、自発的に学習する生徒は、アンケートの結果、「大体」「時々」を合わせ15%（一年次）であった。

今年度英語Ⅱの授業を担当するにあたり、通常の授業の流れを妨げないかたちで、毎回授業の冒頭に市販の単語帳を使用して語彙を増やす活動を8～10分間行った。さらに授業ではできるだけ英語を使用し、音声指導に力を入れ、生徒が授業中に発表する機会を多く設けるようにしている。

### 2 実践内容

#### (1) 題材の目標

- ① 語彙力の重要性を理解し、自主的に学習する態度や、外国語習得への関心・意欲を養う。
- ② 単語を正しく聞き取り、発音し、書き取る。正確に意味を理解する。

#### (2) 指導上の工夫点（視点）

- ① 聞く・書く・発音する時間の明確な区分・・・集中力を持続させ、各技能の定着を図る。
- ② テスト用紙は両面印刷で、授業2コマを使い実施・・・  
1回目：オモテ面を使用。回収・検印し、努力した生徒にコメント等をつけて褒める。  
2回目：コメント等を参考にしてから、ウラ面を使用。
- ③ 単語学習から英語Ⅱへの自然な移行・・・暗記した単語を用いた英語による導入活動。

### 3 指導の実際

時間	活動	生徒の学習内容
休み時間	予習	①前回のテスト用紙を受け取る ②今日の単語の綴りや発音を確認する
2分半	テスト	発音を2回、ヒントの例文を1回ずつ聞き、単語10語の綴りと意味を書く
2分	採点・練習	①単語帳を開き、自己採点する ②用紙の空欄に、間違えた語を練習する（満点なら、次回の予習） ③終了の合図で用紙提出
2分半	復習	上の10語を、単語帳を見て、教師の後に続き、3回ずつ発音する (1): 綴りと発音記号を見て (2): 教師を見て(3): 意味も言う
1分	予習	次回の単語10語の発音を聞く

応答例 **T**: Teacher **S**: Student

**S**: How do you pronounce this word?

**T**: *Strive*. **S**: *Strive*. Thank you!

**S**: Number 826. *Sensible*. *Sensible*. Do you use the cellular phone in a *sensible* way?

**T**: Please check the answers and practice as many words as you can. You have 2 minutes. (机間指導) 9 Points!

You're terrific, Mr./Ms.~.(2分後) OK, stop writing. Please return the sheets.

**T**: Number 826. *Sensible*. **S**: *Sensible*.

**T**: Look up. *Sensible*. **S**: *Sensible*.

**T**: *Sensible*, 分別のある。 **S**: *Sensible*, 分別のある。 **T**: Can you use the cellular phone in a *sensible* way, Mr./Ms.~?

**T**: Just listen to the following 10 words for the next quiz. Number 921. *Silly*...

その後	教科書	本時の内容のオーラルイントロダクションを聞く
-----	-----	------------------------

T: Open your text book to page ~. We're going to learn about the *sensible* way of using technologies.

S: さっきの単語や...

C-1 指導案

C-2 テスト用紙と実際の使用状況

4 成果と課題

(1) 成果 (②、③は2006年10月末実施・2年生2学級73名対象)

- ① 初見の文に対して抵抗が少なくなった (生徒の声)
  - 「教科書や模擬試験の本文中に、覚えた単語が出てくる」
  - 「内容がつかめる」「進んで読む気になる」など
- ② 単語学習への意欲が増加 (選択回答のアンケートより抜粋)
  - 「自発的に暗記している」 (大体 / 時々)
    - …15% (1年次) → 83.6% (2年10月現在)
  - 「覚える意欲がある」 (大いに / 少し)
    - …20.5% (1年次) → 91.8% (2年10月現在)
- ③ 語彙力の重要性を認識 (自由回答のアンケートより抜粋)

【 ( ) 内は人数 】

質問: 授業で行っている単語学習について、どう思うか

回答: 「聞く・書く・発音する等、耳・手・口の感覚を全部使って効率よく覚えられる」(15)

「正しい発音や発音記号の読み方、綴りがわかる」(11)

「自分ではうまく発音できないが、先生の発音を聞いて練習すればできる・授業があるから続けられる」(17)など

質問: 単語を覚えると、今後の自分にどう役に立つと思うか

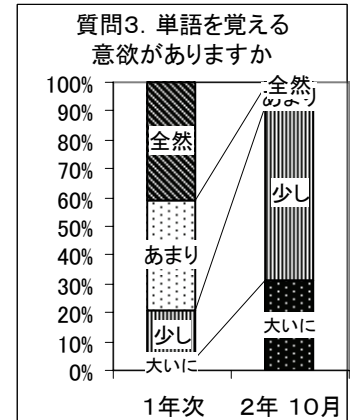
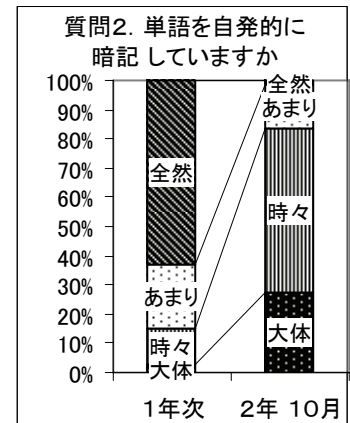
回答: 「長文などの読解や試験に役立つ」(36)

「話したいことが詳しく伝えられる」(10)

「日常生活・海外・外国人との会話・将来の仕事で役立つ」(15) など

④ 生活面での変化

生徒は授業前の休み時間に綴りを練習したり、発音の仕方を質問したりするので、始業ベルまでに着席を促す必要がなくなった。また、友達同士で点数を競うなど、クラス全体で単語の暗記に取り組む雰囲気が定着した。



D-1 生徒の意識 (アンケートの詳細)

(2) 課題

① 制限時間の厳守

週3時間の英語IIで、毎時間この活動に8~10分を割く。残り40分強で他の学習活動を行うため、数分単位の制限時間を守り、授業の密度を高めることが常に求められる。

② 覚えた単語の使用場面の不足

豊富な語彙力が今後の生活に役立つことを、生徒がより実感できるように、覚えた単語を使う機会をより多く設ける必要がある。生徒が引き続き語彙の獲得に励み、コミュニケーション能力を高められるよう、単語の使用場面を工夫していきたい。